

令和6年度（2024年度）第1回長房中学校区地域づくり推進会議
及び長房の未来をつくる会 議事概要

日時	令和6年（2024年）4月20日（土）9:30～12:00
場所	長房小学校 1階 プレイルーム
出席者	参加者：縣、宇田、高坂、清水、鈴木、塚本、本堂、野副、森、森本、山陰、山中、渡辺、大谷、田名網、小名木、石塚、村上、カシム・ベレカ、小塚、田島、大田原、岩本、太田、石黒、佐藤 高齢者あんしん相談センター長房：古座野 シルバーふらっと相談室長房：光富 第1層生活支援コーディネーター：今泉 長房小学校校長：川村 青少年若者課（子ども・若者育成支援センター）：永井 太 市地域づくり担当：伊東、石川、松崎、松下、和田
配布資料	・資料1 地域づくり推進事業について（未来デザイン2024における位置づけ） ・資料2 令和6年度の推進会議の進め方について ・資料3 意見交換「地域づくり推進事業を長房地域全体の取組にしていくためには」

1 開会

事務局より挨拶、資料確認。

2 事務局からの報告

地域づくり推進事業について

資料1「地域づくり推進事業について（未来デザイン2040における位置づけ）」をもとに説明を行った。

- ・ 「八王子未来デザイン2040」は、令和5年4月にスタートした市の最上位計画で基本構想、基本計画で構成された総合計画。まちづくりの基本理念に基づき、私たちが目指すまちとして「6つの都市像」を掲げ、2040年までの目標として、「みんなで目指す2040の姿」を定めている。
- ・ 地域づくり推進事業は、「人とひと、人と地域などが多様なつながりを実感し、ほっとする住みよいまちをみんなでつくっている」という姿を目標として、「地域に居場所が見つかる」「人や地域とのつながりを感じている」「みんなで地域をより良くしている」を実現するための事業。
- ・ 長房中学校区では、令和3年6月にモデル地区として推進会議を設置し、地域カルテや推進計画の策定を行った。また、推進計画で定めたアクションプランに基づき「みんなの食堂」「ハロウィンイベント」「地域情報の発信」「キャリア教育」を実施し、令和6年2月には、地域づくり団体である「長房の未来をつくる会」を設立した。
- ・ 「みんなで目指す2040の姿」を実現するために、2030年までの具体的な数値目標として、「地域に人とひとのつながりがあると感じている市民の割合」と「身近な場所に困りごとを相談できる人がいる市民の割合」を上昇させることを定めている。

3 取組の報告

NAGAFUSA ミライ☆ミーティング VOL. 3について

- ・ 3月23日にコピオ長房をメイン会場として、「NAGAFUSA ミライ☆ミーティング VOL. 3」を開催した。
- ・ 参加者は、地域の高齢者などの他に長房小・船田小の学童の児童・生徒、富士森高校や法政大学の学生など、多世代の参加者が約80名集まった。
- ・ 長房の歴史と防災・安全をテーマに2グループに分かれ、フィールドワークを実施した後、フィールドワークを通じて気づいたこと等について、ワークショップを通じて参加者間で共有をしてもらった。
- ・ ワークショップでは、ガリバーマップやAR技術を用いて多世代間の会話のきっかけとなるような工夫を行うとともに地域づくりの取組のPRを行った。
- ・ 今回は多くの団体との横のつながりを活かして連携しながら実施することができた。次回は、可能であれば、「長房の未来をつくる会」とも連携してやっていきたい。

4 令和6年度の推進会議の進め方について

資料2「令和6年度の推進会議の進め方について」に基づいて説明を行った。

(1) 令和6年度の日程について

- ・ 令和6年度は、年間5回の開催を予定しており、日程については資料2に記載のとおりとした。

(2) 長房のみらいをつくる会について

- ・ 令和6年2月24日の推進会議で地域づくり団体である「長房の未来をつくる会」の設立総会を行い、会の会則や役員、今後の活動の進め方について審議し、決定した。
- ・ その後に行った役員会において役員の上承を得て市の「地域づくり団体の届出に関する要綱」に基づき届出を行っていただいている。また、役員を中心に活動計画(案)の作成、会の口座の開設や印鑑の作成の手続きを行っていただいている。本日の総会では、活動計画及び予算を審議する。

(3) 推進会議と長房の未来をつくる会の機能・役割

- ・ 地域づくり推進会議は、市が要綱に基づいて設置している。機能・役割としては、参加団体間の連携・調整・補完・情報共有、行政との連絡・調整・相談・検討としている。
- ・ 長房の未来をつくる会は、地域主体で設立し、機能・役割としては、地域の将来ビジョンの実現に向けた、推進計画や推進会議の議論に基づく取組の実行として整理を行った。
- ・ 推進会議で議論・検討した内容を長房の未来をつくる会で実行し、推進会議の場で活動の報告をするといった形で連携を図りながら運営していきたい。

(4) 令和6年度の推進会議の進行案

- ・ 令和6年度は、長房の未来をつくる会で実際に活動を行っていく初年度にあたるため、連携を密に図れるように、推進会議の進行を前半はこれまでどおりの推進会議とし、後半を長房の未来をつくる会の総会や取組の打合せ等を行う形で開催していく。前後半の時間配分等については、事前に行う役員会で調整することとしている。

(意見)

- ・ これまでの推進会議の議論の中で、推進会議を長房地域全体の取組としていくためにどのようにしていったらよいかと言った議論があったと思うが、そのことについてはどのように取り組んで行くのか。
⇒（市）今年度は、年間を通して、地域づくり推進事業を長房地域全体の取組としていくためにはといったテーマで皆さんと意見交換を行いながら進めていきたいと考えている。

5 地域の活動等に関する情報共有

- ・ 5月11日にひまわりサロンでパーゼル洋菓子店の協力を得て、パン作りイベントを開催する。多世代交流の場とするため、都営長房東アパートの高齢者の他に、子どもたちと保護者、長房学童の児童・生徒を対象に実施する。

6 意見交換

資料3「意見交換（テーマ）地域づくり推進事業を長房地域全体の取組にしていくためには」をもとに説明を行い、グループに分かれ意見交換を行った。

- ・ 令和5年度末時点の長房中学校区における推進会議参加者をエリア別に示したマップを用意した。参加者数を大まかなエリアごとに青い丸枠で囲んでいる。黄色の丸印は、令和5年度に開催したイベントの場所を示している。
- ・ これまでの推進会議でもご意見をいただいてきた部分でもあるが、このマップからも見て取れるように参加者や取組の実施エリアに偏りがある。
- ・ 令和5年度に実施した推進会議参加者向けのアンケートにおいても、「地域への広がり」に関する設問については、「あまり感じない」との回答が多い傾向があり、推進会議に期待することについての設問では、「地域の担い手の掘り起こし・つながりづくり」との回答が一番多かった。
- ・ こうした意見を踏まえて、令和6年度は、「地域づくり推進事業を長房地域全体の取組にしていくためには」をテーマに意見交換を行っていきたい。今回は、どのような点や場面で、地域への広がりが「あまり感じられない」と思うか、また、どうしたら地域への広がりを感じられるようになると思うかについて意見交換を行う。

グループA

- ・ 参加者や参加団体、場所的な面で広げていくといった3つを軸に検討を行った。
- ・ そもそも、長房は都営・市営団地エリアの人口が多いので、ある程度の偏りは仕方ない。
- ・ 推進会議の会場を長房小から変更して開催してみることも必要ではないか。
- ・ 推進会議参加者が各々所属する地域団体に推進会議の取組等の情報を持ち帰り、周知するというのをやっていく必要がある。
- ・ 子どものお父さんくらいの世代の方の参加者が少ないという点については、子どもを対象にしたイベントをきっかけにして誘ってみるといった方法もある。
- ・ 各地域団体の担い手不足など、運営は厳しい状況があると思うので、そのような点でも推進会議と上手く連携して、お互いに負担が軽くなるという事例が出来たらいい取組になる。

グループB

- ・ 今回、推進会議に初めて参加した方が多いグループだったので、そもそも、なぜ地域づくり

が必要なかわからないといった意見や地域づくりの取組を知らなかったといった意見があった。

- ・ 昨年度行ったハロウィンイベントについては知っている方が多く、子どもたちの保護者世代には、子どもが学校から持ち帰ってくるチラシなどが周知に有効であることがわかった。発信には是非「長房の未来をつくる会」という団体名を入れた方がいい。
- ・ 子供会や PTA など小さなコミュニティは地域にいくつもあるが、それらのコミュニティがつながる場はなかなかないため、そうした役割を担っていくところが大切ではないか。
- ・ 昨年度は活動がコピテラスの近くに寄りがちだった。船田小でもおにぎり大作戦をやっているので、そうした活動を発展させた子ども食堂も開催出来たらいいといった話もあった。

グループC

- ・ 地域づくりの取組を周知していくためには、テレメディアや広報などを活用するのが有効ではないかといった意見があった。
- ・ 町会の役員は毎年変わるので、連合町会の会合の場で周知するのがいいのではないか。
- ・ コピテラス以外の会場を探してイベントを開催するのもいいが、なかなか見つけることも大変なので、地域の既存のイベント（いちょう祭りや端午まつり）で長房の未来をつくる会のブースを設けてはどうか。
- ・ みんなの食堂については、対象を学童の児童・生徒に絞ることなく、一般開放して開催できるといい。
- ・ HPを活用して取組を発信していくことも重要。

グループD

- ・ みんなの食堂のことを中心に話し合った。
- ・ 市の広報を活用して、活動を広く周知していくことが必要だと思っている。
- ・ みんなの食堂については、昨年度、長房学童の児童・生徒と保護者を対象に行った。今年度は、船田学童の児童・生徒と保護者も対象に行っていきたい。

グループE

- ・ 地域づくりの取組の広がりについては課題に感じていた。
- ・ 長房町には多くの町会・自治会がある。その代表者に出席してもらうのがいいのではという意見もあった。ただ、会議の参加人数が増えすぎるとコンセンサスを取ることが難しくなる可能性もあるので適切な人数で運営していくことも大切だと思う。
- ・ 町会・自治会に情報が届かなければ、住民にも情報が届かないので、回覧板を回すなどの周知活動も重要。また、町会・自治会に加入していない人たちとのつながりを作っていくことも重要な課題になってくる。

7 長房の未来をつくる会通常総会

議事概要については、長房の未来をつくる会で別途作成。

8 取組の打合せ等

「長房の未来をつくる会 令和6年度活動計画」に掲載のある6つの事業について、プロジェクトリーダーから取組内容の紹介を行った。

長房はちゃめちゃハロウィン大冒険 2024

- ・ 最初は都営長房東アパートのイベントとして行っていたハロウィンイベントだったが、地域で広く、つながりづくりができるイベントとするため、昨年度、初めて多くの地域団体の協力のもと試行的なイベントとして開催した。
- ・ 例年の参加者数は約150人程度イベントだったが、昨年度は約600人の参加があった。
- ・ 地域に良い波及力のあるイベントとするため長房の未来をつくる会の取組とした。
- ・ 実行委員会を立ち上げて主催しようと考えているため、今後、地域の諸団体に声掛けを行っていく予定。
- ・ 長房町の多くの人達が喜んでくれるような取イベントにしたい。

みんなの食堂

- ・ 昨年度は試行的な取組として、3回開催して経験を得ることができた。
- ・ 今年度は7月、9月、11月、1月、3月の5回を候補月として、調整していきたい。
- ・ まずは4月25日に都営長房東団地の集会場で打合せを行う予定。

こどもとあそびの会

- ・ 地域の子どもたちのために何かやりたいという思いがきっかけでプロジェクトを企画した。
- ・ 英語の絵本や童話の読み聞かせと季節の行事に合わせた工作体験のイベントを実施予定。
- ・ 会場はコピテラスで開催する予定。
- ・ 子ども同士の交流の場とすることも重要だが、子どもの親世代がつながるイベントとすることも大切にしていきたい。
- ・ 第1回は、7月7日の七夕の日に関連したイベントとして開催を予定。
- ・ 対象者については、最初は小規模に10組20名程度とする。

HP立上・運用プロジェクト

- ・ 昨年度の前半までは、情報発信部会として地域情報の発信活動を行ってきたが、HPの立ち上げについては、まだ行えていなかった。
- ・ 会の予算との兼ね合いもあるので、市が提供しているはちコミねっとなど無償で利用できるものの活用も含めて検討していく。
- ・ 8月頃を目途に試行的な運用を始めたい。
- ・ 情報発信に興味のある方や、一緒に勉強しながらやっていきたい方を募集中。

キャリア教育

- ・ 子どもたちに早い段階から将来の職業について学ぶ機会を提供するための取組で国からも推奨されているもの。
- ・ 金融関係の仕事をしており、自身の仕事から得た経験を子どもたちのために活かしてあげ

たいとの思いから企画した。

- ・ 子どもたちに学んでもらうことも大切だが、公開授業などの場で行うことで、保護者の方々にも知ってもらいたい
- ・ 昨年度は、長房小で試行的に実施した。
- ・ 人生のライフプランを描く中で、何にどのくらいお金がかかるのか知ってもらうことで、お金の大切さや両親への感謝の気持ちを持ってもらいたい。
- ・ 今年度は、学校との調整のうえ、6月に「命の大切さを学んでもらう授業」、10月に「お金にまつわる授業と不動産業についての授業」、11月に「地域の職業人による授業」、年明けに「食育にまつわる授業」を実施する予定。
- ・ 関心のある方には、是非協力いただきたい。

長房小校長先生からの報告

- ・ 今年度は、長房の未来をつくる会の協力をいただきながら、学校としてもキャリア教育に取り組んでいきたい。
- ・ 長房では、長房中の2年生が2・3日の職場体験を行っているので、その前段階の取組としていきたい。
- ・ 第1回は、6月15日の公開授業の中でゲストを招いて講義していただこうと思っている。

長房みらい市場

- ・ コピオ長房のデッキスペースで、地域のお店にも協力いただいてマルシェを開催したいと思っている。
- ・ 第1回は8月31日を予定している。翌日の防災の日（9月1日）の意味合いも兼ねて、防災イベントも含めたイベントにしていきたい。
- ・ 地域の企業とも連携しつつ行っていきたい。

その他、各種イベントへの協力と情報発信

- ・ 地域にある各種団体と連携し、地域で開催されるイベント等に協力するとともに、その情報を広く発信していくとしている。

会の会計について

- ・ 予算として、市からの補助金30万円を見込んでいるが、収入として入るのは7月頃になる予定で、現状、資金にはあまり余裕がない。
- ・ そうした事情もあるので、活動を始めるにあたってどうしても立替払いをする必要がある場合は、必ず事前に会長に相談をしてから行っていただきたい。
- ・ 今後、各事業に予算をどのくらい振り分けるのか調整を行っていく必要がある。

9 閉会

以上